



ネットワークの力で 工務店のパワーを 富士山木造住宅協会が発足

昨年に神奈川県
の工務店により神
奈川県木造住宅協
会が発足したのに
続いて、このほど
静岡県で、「富士山
木造住宅協会」の
設立が決まった。
5月14日、富士市
のホテルグランド
富士において約1
00名が集い、発
会式が催された。

ネットワーク化の動きが見られるようになった。富士山木造協設立に当たっては、静岡、神奈川県で幅広く工務店を得意先にしていく木材会社、(株)マルダイ(深沢祐一郎社長)も協力しているが、昨年5月から結成準備が進められ、現時点で地域の信頼が厚く、伝統の技術を継承する54社が入会を表明している。

持管理をきちんとして我々の手で家を守ることに、大工、工務店の存在をもっとアピールする必要があります。それには個々の小規模な工務店だけでは力不足であり、木住協というネットワークの力で強い工務店を守り育てて行きたい」と熱いエールを送った。

同協会の事務局は当面マルダイが務めることになっており、独自のサポート体制を目指す。東一円のネットワークとして(株)全国中小建築工事業団体連合会・JBNに加盟、全建連型200年住宅にも取り組むことを決めている。発会式には全建連の青木宏之会長、工務店サポートセンターの藤澤好一センター長を招き、いち早く勉強会を開催した。

国の制度が大きく変わり、住宅需要の低迷も続いて、工務店業界には逆風が吹き荒れているが、今こそ地域の工務店の力を見せる時、と新たな

発会に当たって、初代の会長に就任した(有)空間工房口ハスの寺崎幸治社長は、「社会全般にわたって厳しい状況が続く中、地域社会の自立ということが急務になっていくと思います。その中で工務店の存在意義は極めて大きく、持続可能な社会を担うべく、地域の木を用いた大工の手による家づくりを進め、また維